

二級水系  
流域治水プロジェクト

# 山田川流域治水プロジェクト2.0

～醤油醸造発祥の地を流れる山田川で気候変動への対応を目指す流域治水～

○山田川流域において、気候変動下でも10年に1度の豪雨による洪水被害を軽減する河川整備を行うとともに、流域における事前防災対策を推進し、水災害被害の軽減を図る。

## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

**洪水氾濫対策** 河道掘削・拡幅、捷水路整備、護岸・堤防整備

**土砂災害対策** 砂防堰堤工、溪流保全工

**流域の雨水貯留機能の向上** ●ため池改修、事前放流・低水位管理

●間伐等の森林整備

## ■ 被害対象を減少させるための対策

**水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫**

●土地利用規制の検討

**まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実**

●まちづくりでの活用のための多段階の浸水想定区域図の作成

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

**土地の水害リスク情報の充実**

●水害リスク情報の空白域の解消

(支川等における浸水想定区域図の作成)

**あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供**

●水位計・監視カメラ等の設置・増設

●防災教育や避難訓練等の実施

**避難体制等の強化** ●ハザードマップの作成・周知

●タイムラインの作成・運用

●避難場所の安全レベル設定や和歌山県防災ナビアプリの普及啓発等による迅速な避難行動の促進

●避難所の安全対策、誘導體制等の構築・強化

●避難時間確保のための体制等の構築・強化

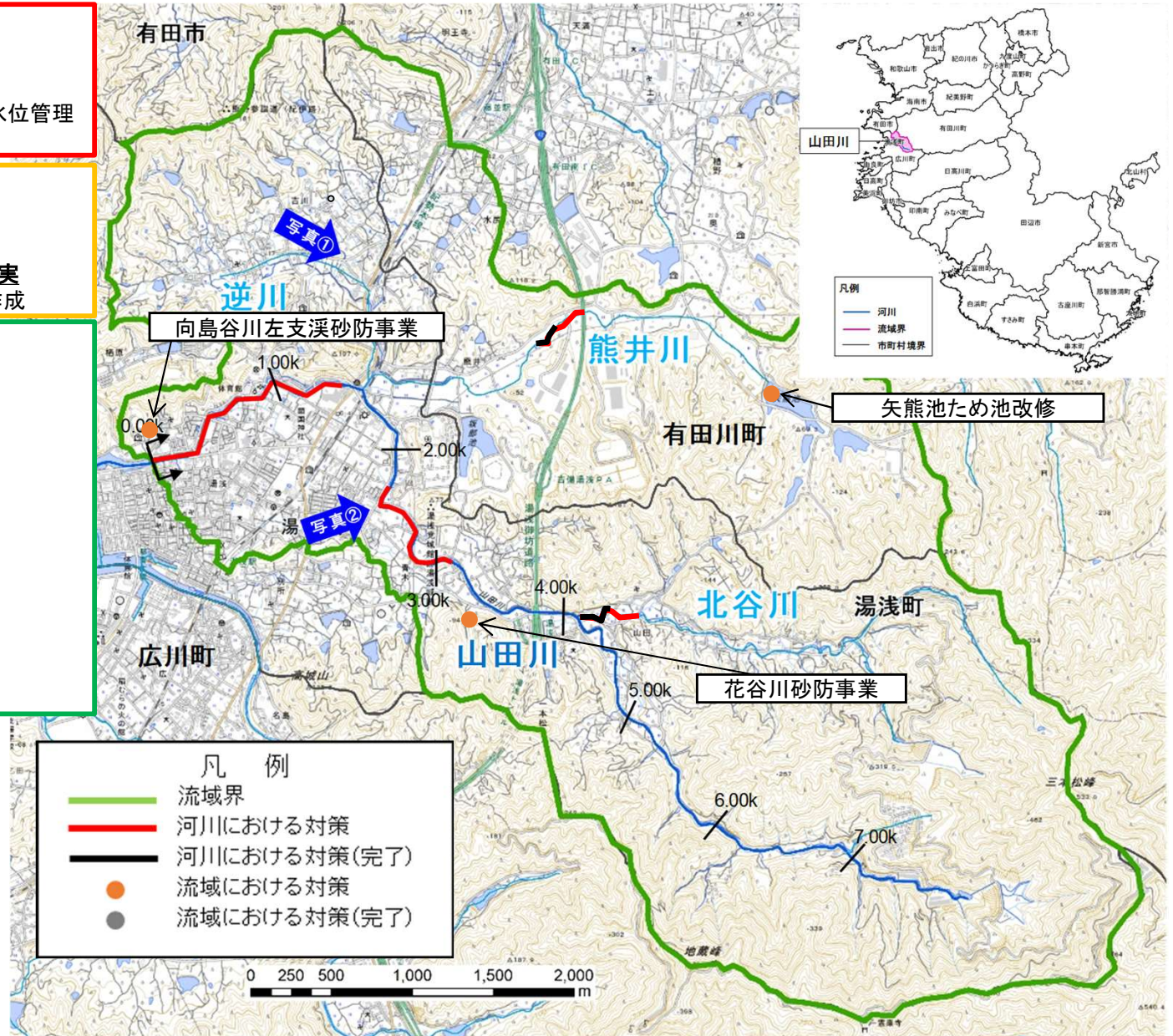
**経済被害の軽減** ●排水ポンプ車、可搬式ポンプの配備



① 令和5年6月豪雨  
(湯浅町吉川地内)



② 令和5年6月豪雨  
(湯浅町一之橋付近)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。